

協会ニュース

平成 28 年 12 月 19 日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.orjp URL http://qmac.jp/

平成 28 年度 第 3 回シンポジウム「組織活性化・人材育成」

開催日時 : 平成 28 年 12 月 14 日 (水) 13:20 ~ 17:00
場 所 : 広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室
参加者 : 25 企業・団体 135 名

モノづくり企業の活動は、ますますグローバル化の度合いを強めており、競争に勝ち残るために生産現場では中核を担う人材の継続的な育成が重要な課題となっています。今回のシンポジウムでは、国内での生産にこだわりを持ち挑む企業及びグローバル展開へ挑む企業、それぞれの企業の観点からの組織活性化・人材育成をテーマとしてシンポジウムを開催いたしました。

シンポジウム当日は 25 企業・団体 135 名と多数の方にご参加いただきました。

講演第 1 部では、「Made in IZUMO を支えるモノ(物・者)づくり」と題して、株式会社島根富士通 製造部長 兼 生産革新センター長 松元 省吾 様にご講演いただきました。Made in Japan にこだわり、良い製品(物)をより早く、より安く提供するための生産革新への取り組み。また、「人は仕事で成長し、社会に貢献する」を経営理念に掲げ、「改善実践力」「品質知識と実践力」「生産技術と ICT 技術」を三本柱とした、人材(者)育成に関わる教育の仕組み、などについてお話しいただきました。

地域貢献への活動についてもご紹介いただき、出雲で奮闘される企業の姿を感じることが出来ました。

講演第 2 部では、「グローバル展開への挑戦：ベトナムでの人材育成から学んだこと」と題して、広島アルミニウム工業株式会社 総務部 人材開発課次長 長里 清文 様に、海外展開の先駆けとなったベトナムでのローカル人材の育成を教訓に、社内展開されている内容についてご講演いただきました。言語・文化・環境・習慣や様々な違い「日本の常識は世界の常識ではない」を認識し、一つ一つ課題を乗り越えるための様々な対応事例・実情等をご紹介いただきました。

長里様とローカルスタッフとの生々しい実体験のお話は、大変興味深く引き込まれる内容でした。

お二人のご講演後、広島工業大学名誉教授の久保田洋志先生をコーディネーターとして迎え、パネルディスカッションが行われました。会場から寄せられた多くの質問に講演者が回答することで、講演者の本音を伺うことができ、その結果、講演内容の深掘りが行われ、参加者の理解もより深まりました。

アンケート結果では、「興味深い内容だった」「ヒントになった・参考にしたい」「感銘を受けた」などの感想が寄せられ、非常に有意義なシンポジウムとなりました。



島根富士通
松元 省吾 氏



広島アルミニウム工業
長里 清文 氏



パネルディスカッションの様子
(左からコーディネーターの久保田氏、松元氏、長里氏)